



2015年3月期第2四半期 決算説明会

東京製綱株式会社

(TOKYO ROPE MFG. CO., LTD.)

2014年11月27日

目次

2015年3月期第2四半期決算概要

2015年3月期見通し

事業別主要施策の概要

目次

2015年3月期第2四半期決算概要

2015年3月期見通し

事業別主要施策の概要

2015年3月期第2四半期 決算ポイント

イズミット湾横断橋向けケーブル(開発)売上、スチールコード事業の収益改善、他セグメントも堅調に推移し増収増益

売上高 341億6百万円〔前期比 +7.5%〕

開発製品は海外プロジェクト案件の売上で大幅増収

営業利益 11億32百万円〔前期比 +21.5%〕

スチールコードが事業構造改革により、黒字転換を前倒し達成
 他セグメントは概ね計画通りに推移

当期純利益 18億60百万円〔前期比 +144.8%〕

本業の増益に加え、有価証券売却益・事業譲渡益・為替差益が寄与

2015年3月期第2四半期 決算ハイライト

(金額:百万円)

	14年3月期1Q・2Q		15年3月期1Q・2Q		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	31,728	-	34,106	-	+2,378	(+7.5%)
営業利益	932	(2.9%)	1,132	(3.3%)	+200	(+21.5%)
経常利益	622	(2.0%)	1,570	(4.6%)	+948	(+152.4%)
当期純利益	760	(2.4%)	1,860	(5.5%)	+1,100	(+144.8%)

セグメント別の状況（売上高）

鋼索鋼線：鋼索（繊維含む）は堅調も鋼線需要減により微減

スチールコード：全分野で増収となるも製品分類変更により減収

開発製品：海外プロジェクト案件の売上計上により大幅増収

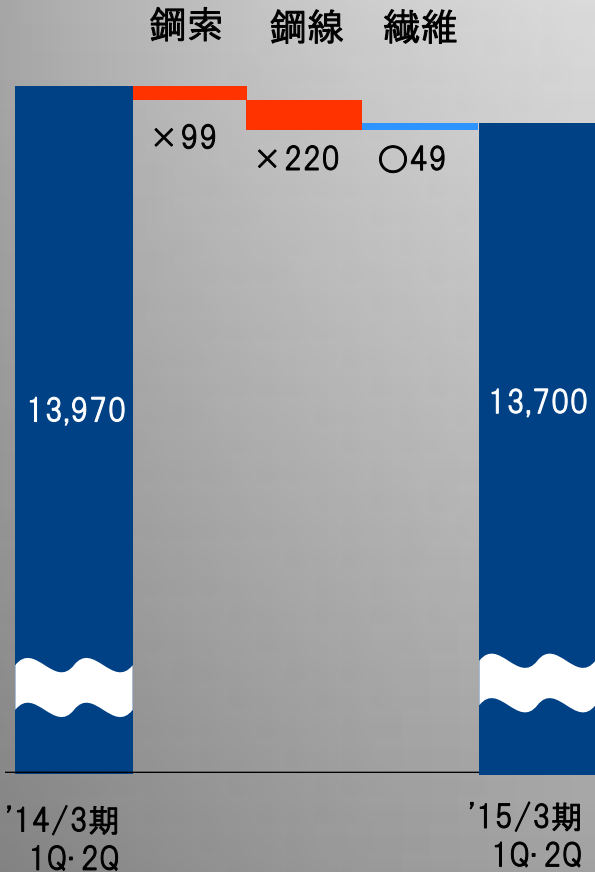
（金額：百万円）

	14年3月期1Q・2Q		15年3月期1Q・2Q		前年同期比	
	金額	（構成比）	金額	（構成比）	金額	（増減比）
鋼索鋼線	13,970	(44.0%)	13,700	(40.2%)	△ 270	(△1.9%)
スチールコード	7,922	(25.0%)	7,331	(21.5%)	△ 591	(△7.5%)
開発製品	5,284	(16.7%)	8,168	(23.9%)	+ 2,884	(+54.6%)
不動産	590	(1.9%)	565	(1.7%)	△ 25	(△4.2%)
その他	3,961	(12.4%)	4,340	(12.7%)	+ 379	(+9.6%)
合計	31,728	(100.0%)	34,106	(100.0%)	+ 2,378	(+7.5%)

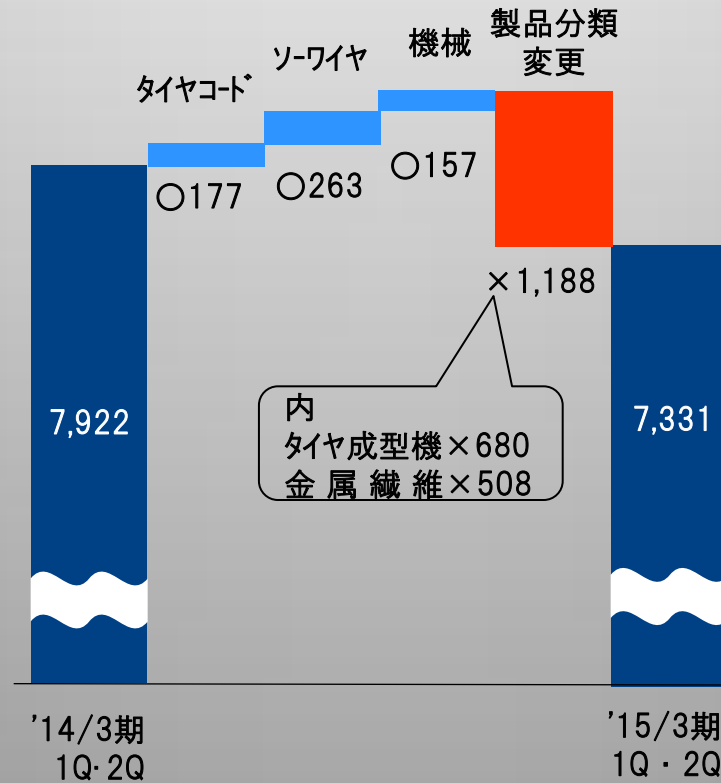
増減要因分析（売上高）

（単位：百万円）

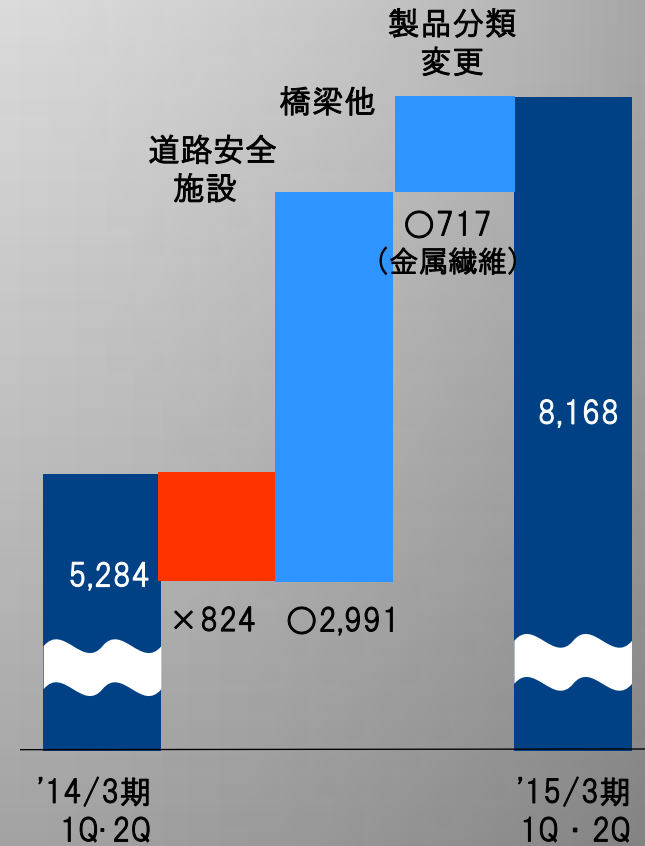
鋼索 鋼線



スチールコード



開発製品



セグメント別の状況（営業利益）

鋼索鋼線 : 鋼索製品の販売単価改善により増益

スチールコード : 事業構造改革及び改善施策の効果により黒字化達成

開発製品 : 前期の高収益案件が一服し減益

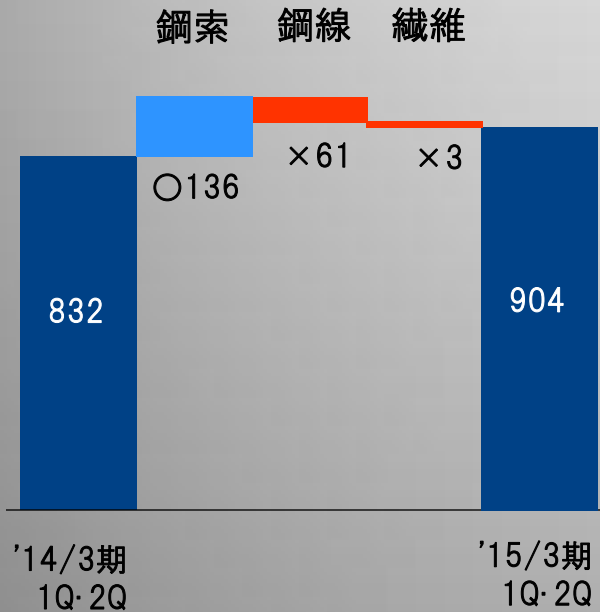
(金額:百万円)

	14年3月期 1Q-2Q	15年3月期 1Q-2Q	前年同期比	
			金額	(増減比)
鋼 索 鋼 線	832	904	+72	(+8.7%)
スチールコード	△ 485	228	+713	-
開 発 製 品	254	△ 140	△ 394	-
不 動 産	188	△ 22	△ 210	-
そ の 他	142	163	+21	(+14.8%)
合 計	932	1,132	+ 200	(+21.5%)

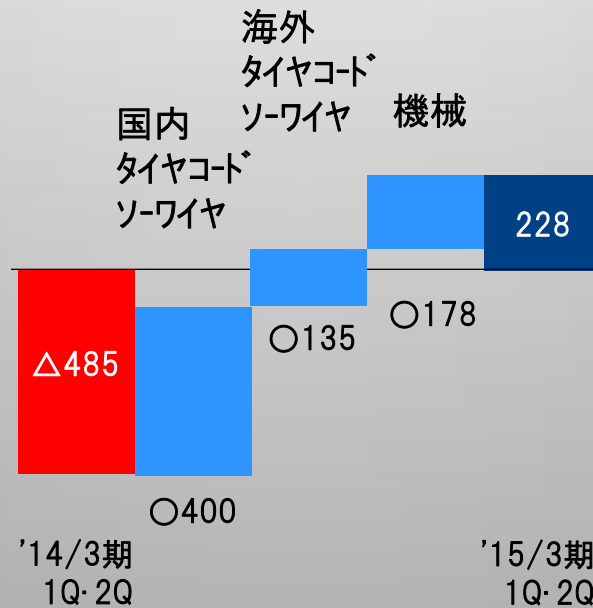
増減要因分析(営業利益)

(単位:百万円)

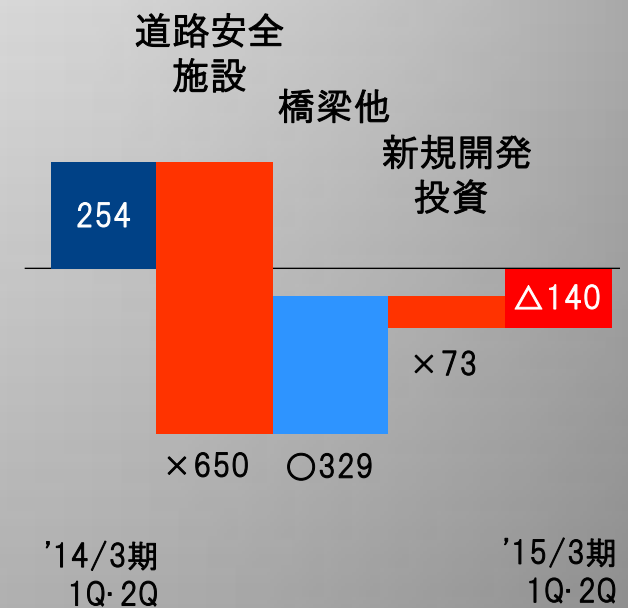
鋼索 鋼線 繊維



スチールコード



開発製品



キャッシュ・フロー

営業活動：売上債権・棚卸資産減、収益向上でキャッシュイン増加

投資活動：大規模新規投資案件は一段落

財務活動：第三者割当増資、有利子負債圧縮で財務基盤強化

(単位：百万円)

	14年3月期 1Q・2Q	15年3月期 1Q・2Q
現金及び現金同等物の期首残高	5,463	2,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	290	4,547
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,605	△ 169
フリー・キャッシュ・フロー	△ 1,315	4,378
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 81	394
その他(為替換算差、新規連結に伴う増加他)	△ 415	24
現金及び現金同等物の期末残高	3,652	6,968

資本増強に伴うバランスシートの変動

資本増強に併せて純資産を構成する勘定間の振替を実施(将来における安定配当の基盤構築)

【2014/3末(連結)】

(金額:百万円)

純資産	13,261
資本金	15,074
資本準備金	5,540
その他資本剰余金	3,035
利益剰余金	▲17,406
自己株式	▲3,276
その他の包括利益累計額	8,260
少数株主持分	2,035



【2014/9末(連結)】

(金額:百万円)

純資産	18,466
資本金	1,000
資本準備金	250
その他資本剰余金	3,532
利益剰余金	5,850
自己株式	▲3,278
その他の包括利益累計額	9,065
少数株主持分	2,047

上期の利益上積みも加わり、自己資本比率は
2014/3末12.9%→2014/9末18.6%へ改善

目次

2014年3月期決算概要

2015年3月期見通し

事業別主要施策の概要

2015年3月期 年度見通し

スチールコード事業の構造改革効果、開発製品のイズミット湾横断橋の売上等により、増収増益の見通し

(前年度の一過性要因を除けば、最終利益も実質増益見通し)

(金額:百万円)

	14年3月期		15年3月期		前年同期比	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)	金額	(増減比)
売上高	70,865	-	75,000	-	+4,135	(+5.8%)
営業利益	3,389	(4.8%)	3,700	(4.9%)	+311	(+9.2%)
経常利益	3,541	(5.0%)	3,600	(4.8%)	+59	(1.7%)
当期純利益	4,747	(6.7%)	3,700	(4.9%)	△1,047	(△22.1%)

2015年3月期下期 主要製品見通し (対前年度比)

鋼 索 鋼 線

【国内ワイヤロープ】市場環境良好、引続き堅調に推移

【海外エレベータ用ロープ】ベトナム工場生産能力増強効果が寄与し増収

【繊維ロープ】前年同期/増税による駆け込み特需あり。今期/平常水準

スチールコード

【タイヤコード】国内、海外共に販売増により増収

【ソーワイヤ】特殊品(極細・コアワイヤ)の販売は堅調に推移

開 発 製 品

【道路安全施設】海外案件減少も、国内法面・雪害製品は前年同期並み

【橋梁ほか】イズミット湾横断橋により大幅増収

2015年3月期 セグメント別見通し (売上高)

【開発製品】 イズミット湾横断橋により大幅増収

【スチールコード】 タイヤコード・ソーワイヤ増収も、下記影響で減収

- ・前期/産業機械(ワイヤソー在庫)販売あり、当期/未織込み
- ・金属繊維製品の分類変更(スチールコードから開発製品へ)

(金額:百万円)

	14年3月期		15年3月期		前年同期比	
	金額	(構成比)	金額	(構成比)	金額	(増減比)
鋼索鋼線	28,445	(40.1%)	28,200	(37.6%)	△ 245	(△0.9%)
スチールコード	16,653	(23.5%)	14,900	(19.9%)	△ 1,753	(△10.5%)
開発製品	15,302	(21.6%)	21,200	(28.3%)	+5,898	(+38.5%)
不動産	1,185	(1.7%)	1,000	(1.3%)	△ 185	(△15.6%)
その他	9,278	(13.1%)	9,700	(12.9%)	+422	(+4.5%)
合計	70,865	(100.0%)	75,000	(100.0%)	+4,135	(+5.8%)

2015年3月期 セグメント別見通し（営業利益）

スチールコード：構造改革・差別化商品拡販により収益改善、黒字転換

鋼索鋼線：市場環境堅調も、諸資材価格高騰により減益見込む

開発製品：海外高収益案件の売上減により減益

不動産：リニューアル、店舗入替に伴う一時的収益減少

（金額：百万円）

	14年3月期	15年3月期	前年同期比	
			金額	（増減比）
鋼 索 鋼 線	2,041	1,800	△241	（△11.8%）
スチールコード	△ 917	550	+1,467	-
開 発 製 品	1,521	900	△ 621	（△40.8%）
不 動 産	319	0	△319	（△100.0%）
そ の 他	424	450	+26	（+6.1%）
合 計	3,389	3,700	+311	（+9.2%）

目次

2015年3月期第2四半期決算概要

2015年3月期見通し

事業別主要施策の概要

期初に掲げた『今期の主要施策』

更なる事業基盤強化に向けた主要課題4点

(1) SC事業構造改革の完遂

(2) 増収要因の揃う国内市場の確実な捕捉

(3) 海外成長市場における収益確保・拡大

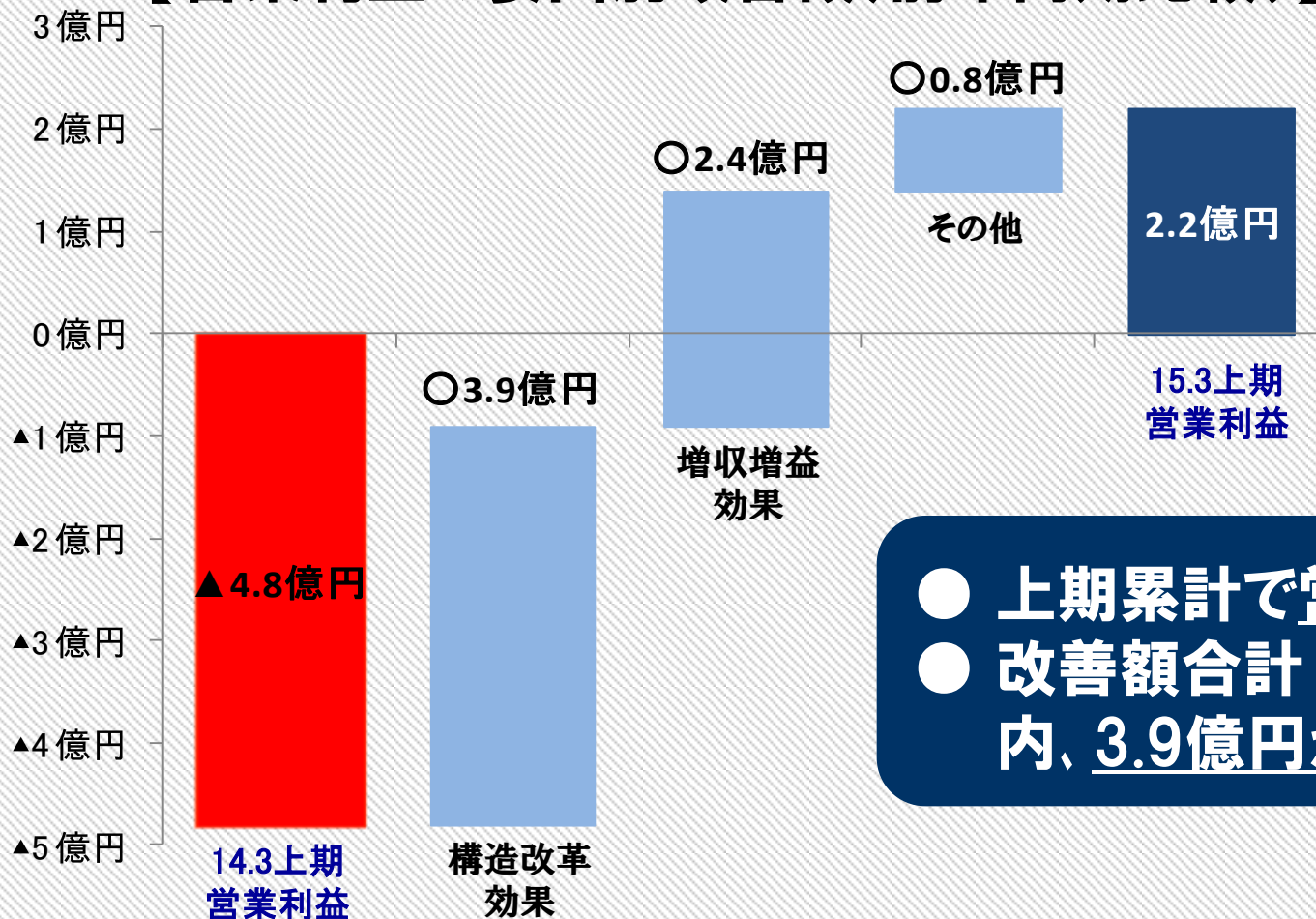
(4) 資本増強による財務体質安定化

(1) スチールコード事業

(1) スチールコード事業 ①

スチールコード事業構造改革の進捗状況

【営業利益の要因別改善額(前年同期比較)】



- 上期累計で営業黒字化達成
- 改善額合計 7.1億円
内、3.9億円が構造改革効果

(1) スチールコード事業 ②

生産拠点別の損益改善状況

【国内拠点】

- 構造改革による収益体質改善
- 高付加価値差別化商品の寄与
→ 恒常的黒字体質に変革

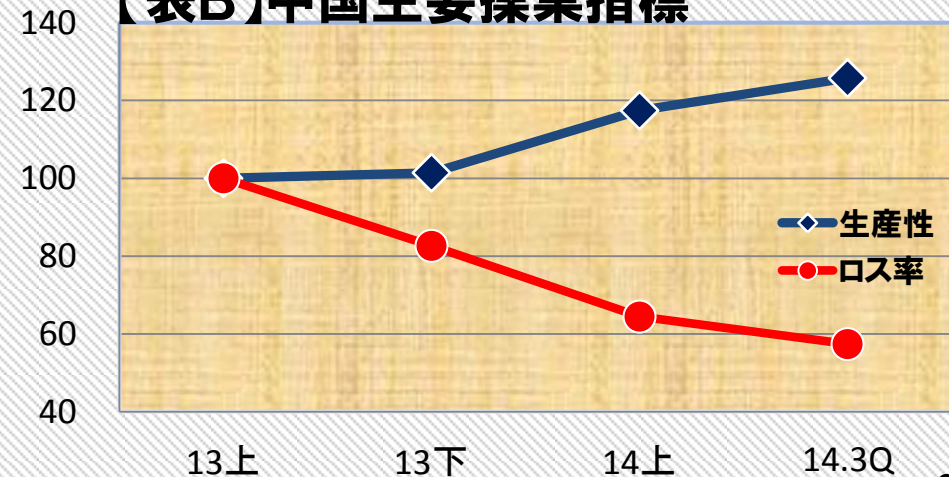
【中国拠点】

- 中国人の総経理登用
- 営業体制の現地化
- 成果主義賃金制度導入
- 現地に即した管理体制
→ 経営現地化徹底、操業改善で
損益大幅改善

【表A】差別化商品売上高比率(国内)



【表B】中国主要操業指標



(2) 鋼索鋼線事業

(2) 鋼索鋼線事業 ①

国内市場の捕捉(鋼索=ワイヤロープの事業環境)

- 消費増税の影響はあったものの、
マーケット総量は横這い…対前年同期比:99.9%

(線材製品協会鋼索部会_統計資料)

- 当社は、重要保安品分野における受注が増加

【主な増加分野】

- ☆建機向け(土建需要活況)…対前年同期比 23%up
- ☆鉄鋼向け(ユーザ活況) … 同上 10%up
- ☆索道向け(ユーザ業況回復)… 同上 39%up

(2) 鋼索鋼線事業 ②

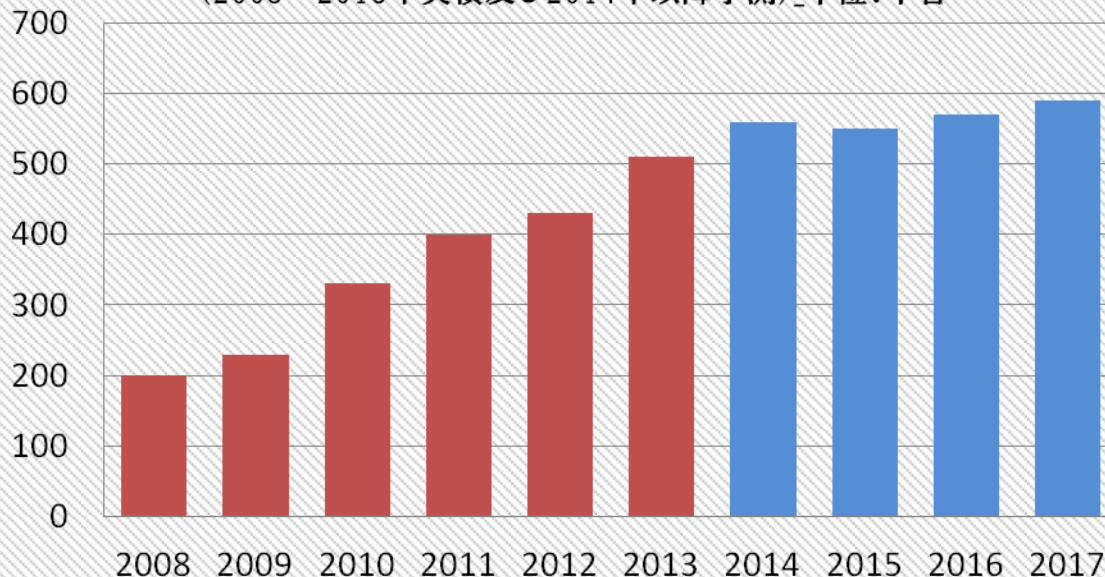
海外成長市場の取り込み (A)

GDP鈍化も、中国は依然「昇降機の主戦場」

新設機世界総台数の75%は中国・アジア市場が占める

中国エレベータ:新設台数推移

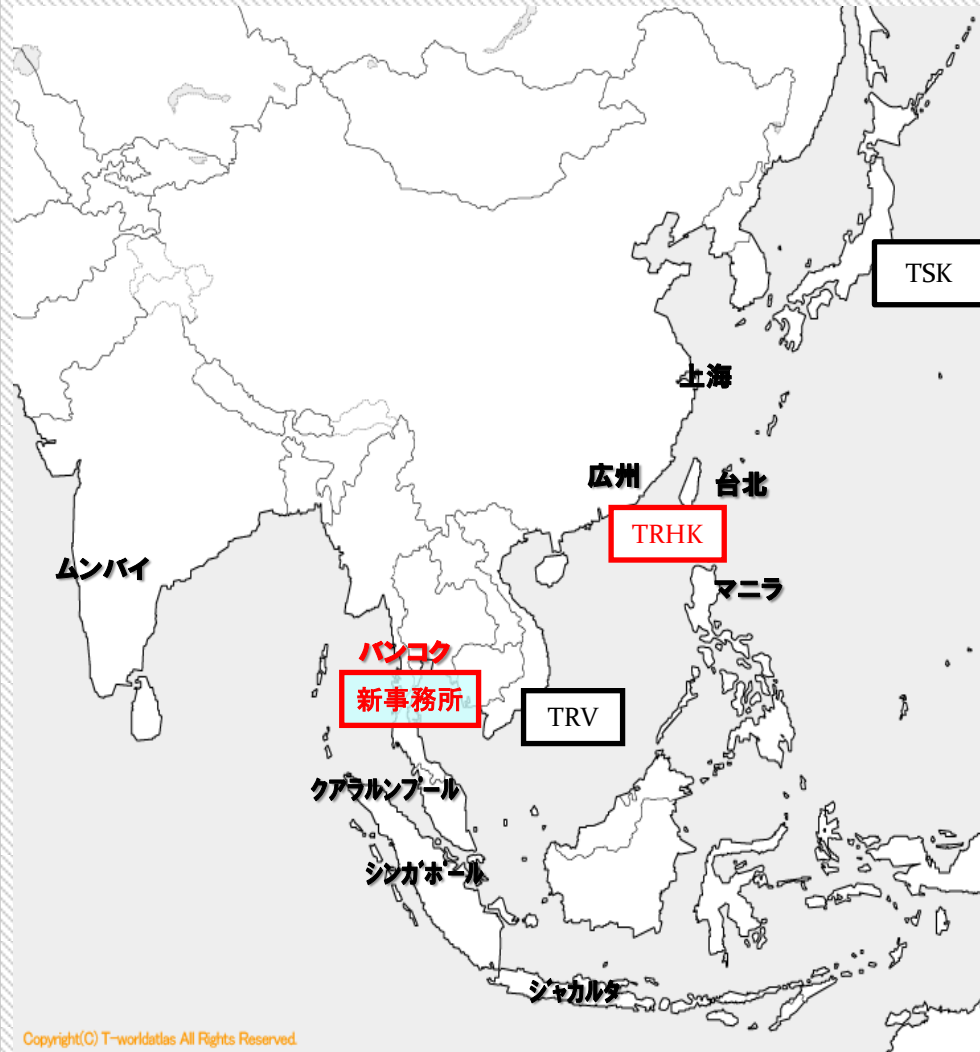
(2008~2013年実績及び2014年以降予測) 単位:千台



- 不動産市況低迷も中国都市化率は依然低位
- 地方都市化は今後も継続
※当社顧客受注ゾーンは(都市ビル、高層マンション)今後も需要増が見込まれる
- 交換需要そろそろ始動

(2) 鋼索鋼線事業 ③

海外成長市場の取り込み (B)



【当社の海外向けエレベータ用ワイヤロープ製造・販売体制】

- ◆ 標準仕様品生産
東京製綱ベトナム(TRV)
- ◆ 特殊仕様品生産と開発
東京製綱土浦工場(TSK)
- ◆ 販売子会社
東京製綱香港有限公司(TRHK)
- ◆ バンコク事務所開設
更なる需要増加が見込まれる
東南アジアのユーザニーズ捕捉

(3) 開発製品事業

(3) 開発製品事業 ①

国内市場の足下概況、海外市場動向

<上期>

- ✓ ロシア向け需要一服
- ✓ 四国・中国地方を中心とする大雨台風災害(関西工事遅れ)



<下期>

- 国内は、足下発注本格化
- 下期に入りロシア向け今期初受注(今期売上)
- 今期内施工予定の海外物件に注力中

☆ 新興国のインフラ整備需要に対して、
当社開発製品の設計織込みを着実に積上げ中

 …当社道路・橋梁分野製品
納入又は設計協力実施国



(3) 開発製品事業 ②

炭素繊維複合材ケーブル(CFCC®)

【インドネシア送電線向け生産開始～量産化スタート】

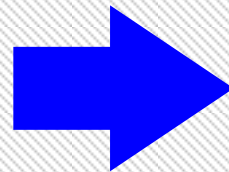


CFCC荷姿(出荷待ち)

上記向け第一段として、スマトラ島の増容量
化架線工事向け(360km)を、11月より蒲郡
工場生産開始
以降複数物件を順次受注予定、蒲郡工場の
能力増強により対応(来年度フル生産)

◎インドネシア

- 人口増加
- 高経済成長率
- 多島国家
(僻地向け送電需要大)



既存送電線の増量化
HTLS電線ニーズの高まり

(注)HTLS電線:高温低弛度電線

ご注意

- 本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください

東京製綱株式会社

2014年 11月